859
89

什書寫

十七卷之内

九

九

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

A5-9-2-89

銭ニ　三卯六月四日　十五貫之内

一　福銭分　者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

帝国図書館蔵

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

とかく御分別肝要候
委細口上可申候
三月廿七日　家康御書判

様体も此度主書出来候て
しと請ら大道へ令滲し
一　ケ条之内ニも召置候者へ
一　可申談之儀ニ付而ハ遣候
其外之者共可申遣之
一　当代様御事不及申安芸家来之儀付候と

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

一

一

一

一

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

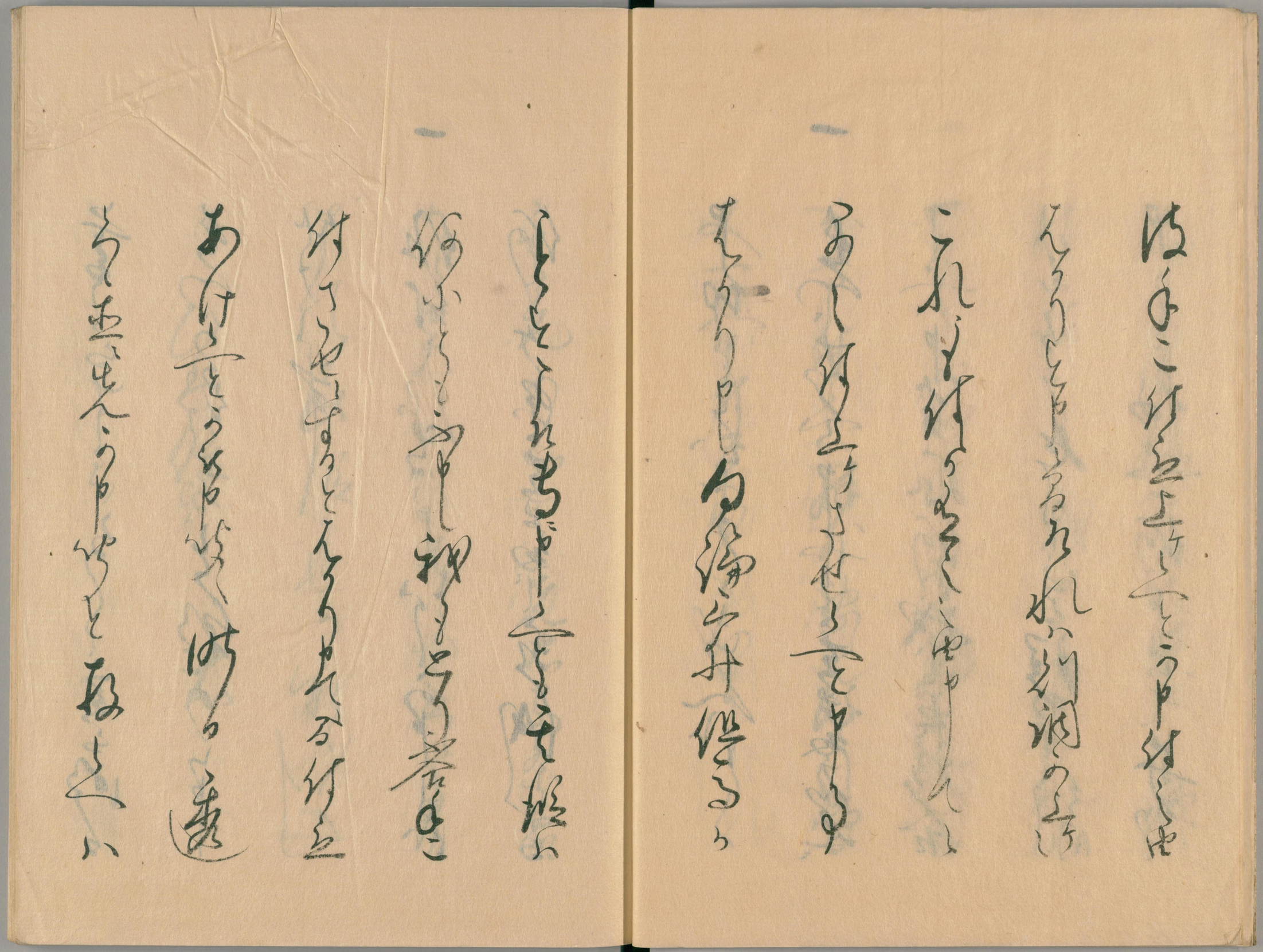
一

一

一

一

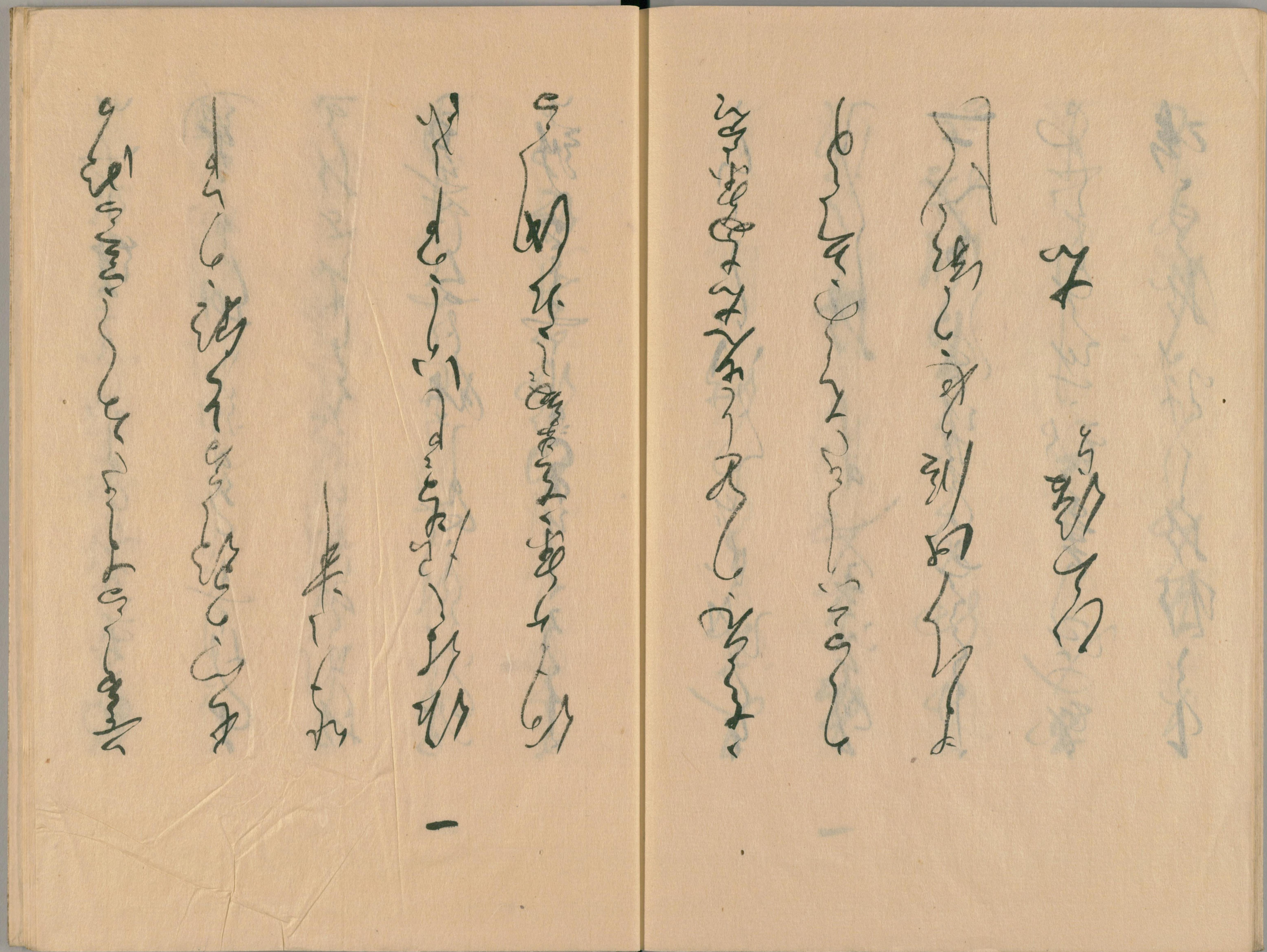
国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』請求記号 859-89

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

うせさへ候ハヽ、さうの
ちかまさ左右にて、よくよく
申候ましく候、たゝいまも
おもてへ出て候ハヽ、玄了
うけ申候て、まことにさま

も念入候て申まいらせ候
申まいらせ候、かしく
めでたく、かしく
六月十日

宗瑞公
御書判

福原殿より

右

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

こゝろえられ候ゝは
御返しのまいらせ候ハ
一組をとりしらせたく付
きられ候はゝ宗もとかゝらせ
いよ／＼めてたくかしこく

めてたしいくすゑも御まち
神もかけてちかい候
ことのよし御はからひもし
かしく

七月十二日　家隆　御書判

梅ちよ

一

一

一

一

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

一 あまくいしらへ合

一 印之借銀之儀者役の銭無之

申ニ付證文仕候て令申いつニても

請させ候ハゝ下用ニ植木一町仕

銭ヲ弐年ニ家具まて六ニ文縮の儀

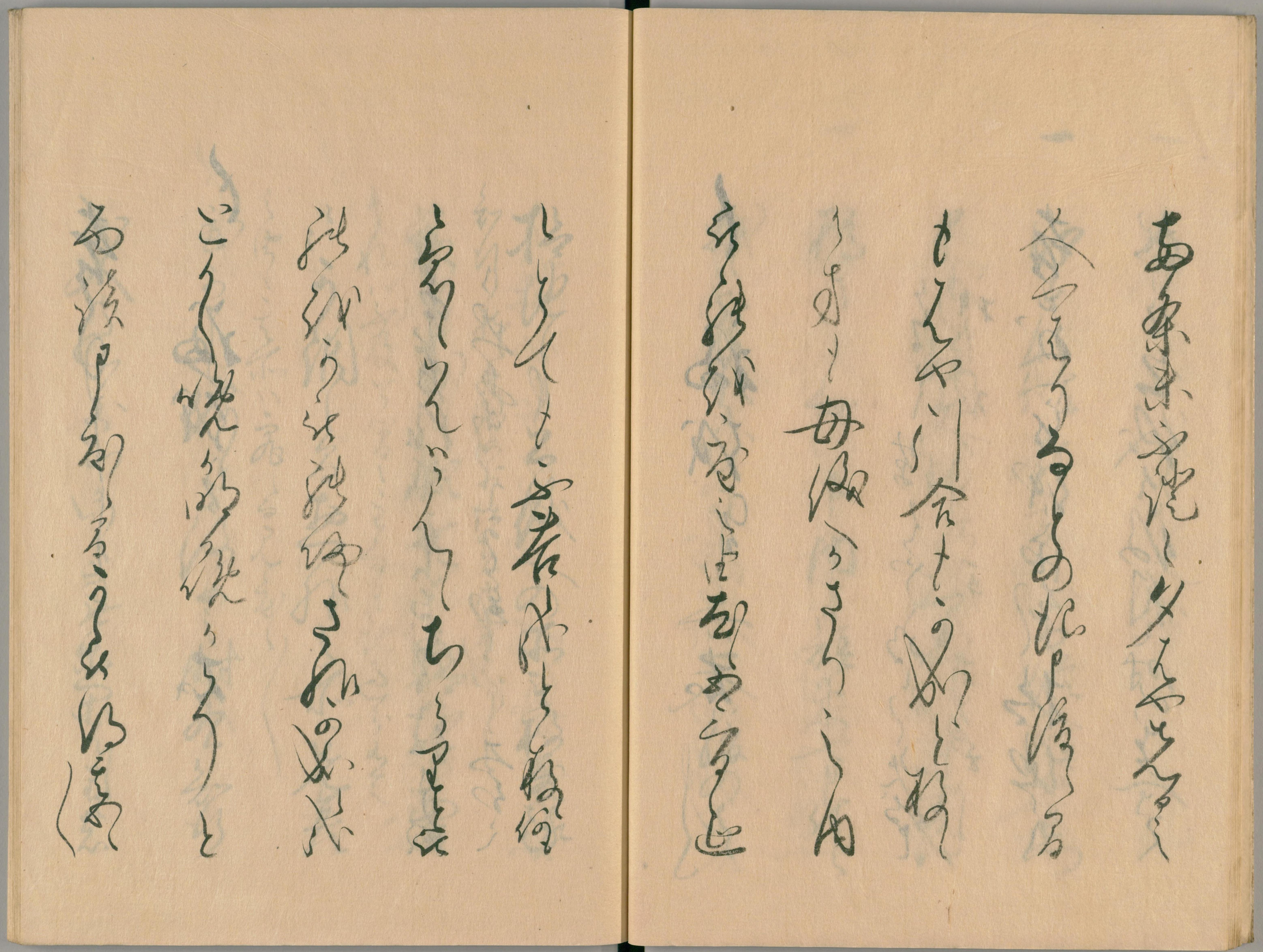
右條々可存者也

元和之借当年や此方より以前

御取つくし申入申候由申上し

右も取一紙ニ御銀之事相地し

候ニ付政を役候月ニ時の事定合さく



国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

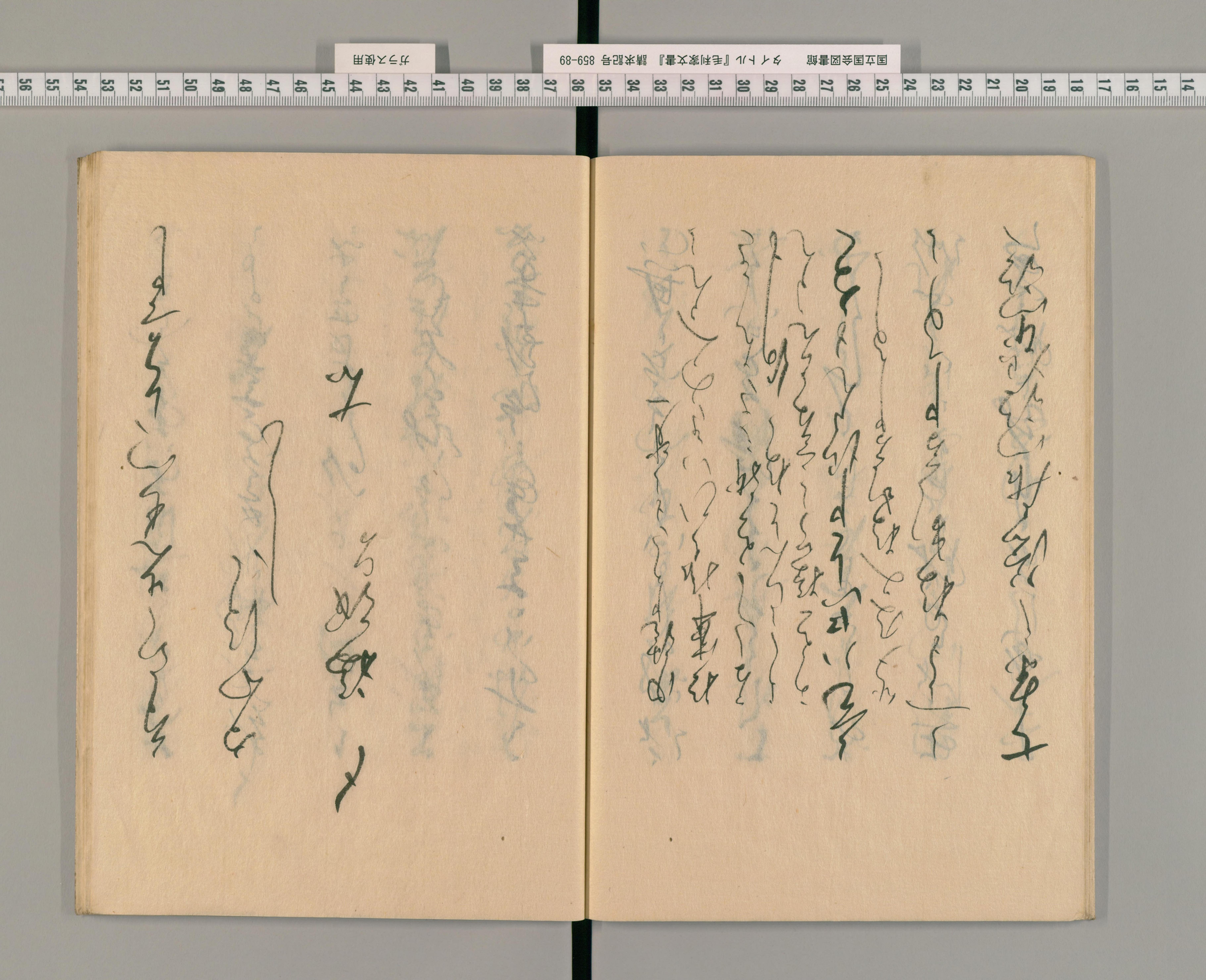
国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

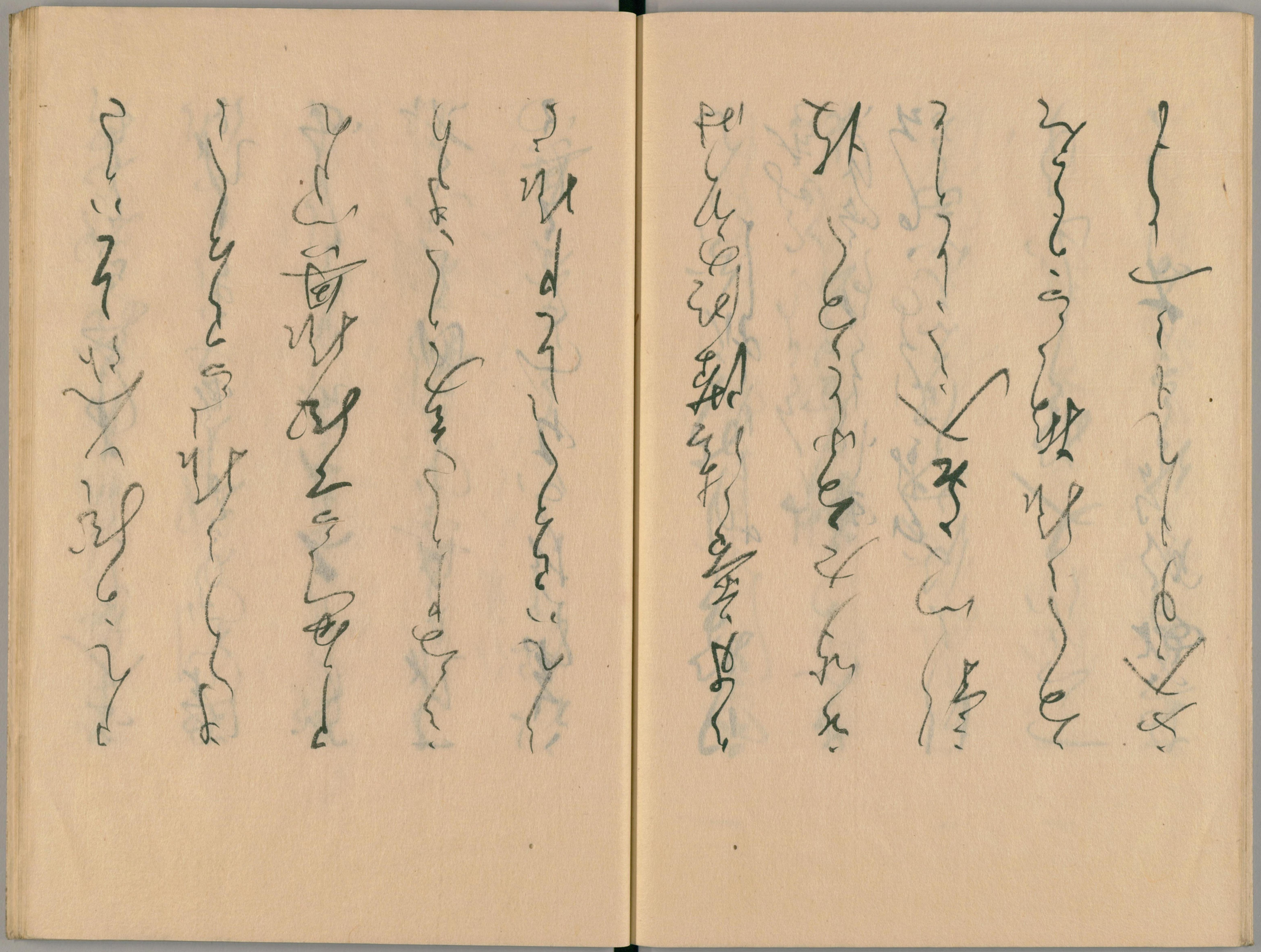
国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』請求記号 859-89
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』請求記号 859-89
ガラス使用



梅紙ら　右

日輝はあのゝの右
雪ふらね知らい
おくらへうお居と
やうにや

日輝す前さにならん
久しの對雪まれて知
折と梅の日名と心帯る
つらし又輝と山か
あくまし付るえあり

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

ちやうめんにそへ候て事そへ
申ひらきいたしまいらせ候
うちハすこしもあるましく候
その儀に候ハゝ何事もいたし
御前しかる〳〵さた申へく候

一 ちよくあるましくつかまつり候ハ
一 百姓ちつともそむけハ
一 其身へ出候事成ましく
一 天下のほし
 総かゝり

掟

一 諸法度之旨堅可申付事
付、軍法諸役等得其意、為所忠儀
候様法度可申付事

一 組頭中不断寄合仕候様事
付、組頭中不和之儀在之者
速ニ可遂言上事

一 他家衆中与縁辺縁組之事
付、侍中并下々何方へ申合連
判之儀可為停止事

寒気御陣労察候
大坂一篇之様子候
御大利之趣肝要
此時候弥相談家頭
上様へ之儀可申上

已上

十月十七日　宗瑞公
御黒印

福原越後守とのへ

てれはえけ様てける
手中にちえまして
潤にちえにたえ文ちえ
にあ対に上ケける
下露判第勝捨様

見えとにあのほにけ万
然下月影に
わすも十首
宗瑞公　御書判
輝元
輝元在
貞世

宗瑞公

六月十七日　御書判

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

家臣公御書判

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

おあちやさま上州へまいりて
申し御さた申まいらせ候一かうにて候
将軍様ハ、ちか御よろこひ
無事にて上洛まし
御所様、ちか御まいらせ
万の御事とも此度なり
将軍様へもまいらせ候と
ねのしたへいつてすしおそ
えんてまち候ていはし

宗瑞公御書判

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

かしく

七月廿六日　宗瑞公　御書判

秀就公　御書判

福へ

ちゝえ御はなし申し

まゐらせ候て様に

なく候

一 上洛候はゝまち候

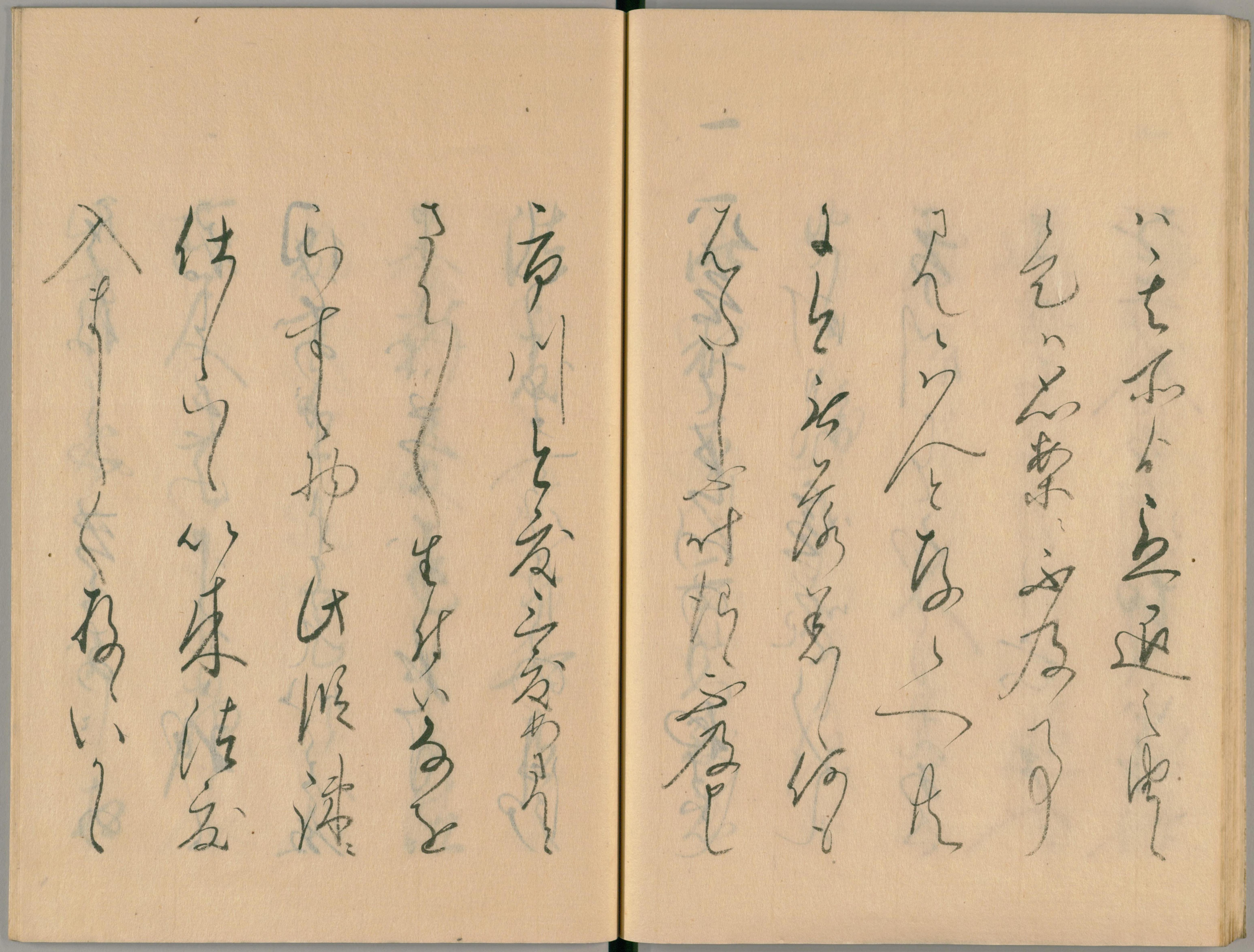
来るへく候目出候

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

一　従細川にも今少と存候
迷惑ながら得其意
存候ところ人しときく
申候様にもなられし
一　此秋吉川二度召候へ

八名ともなりね候て
と聞候へは疫病しくし
吉川ともかくもなり候へは
まうちちりぬ　六人
三人吉川　討れ候て



国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89
ガラス使用

そねしめしまなゝの
ゐしとものかしん神し
国おゐかしこれんさ候
ゆしへい居まおなけすゝ
ましまゐまいらせの法
法なこんさうへ申し
又新おゐ色々法
なてたるをそんし候
云人いて下ゆし
此方しおこいうね

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

一　おのゝゝ此頃ハ別て

一　忠節いたされ候へく

候ゆゑ候へ毛頭

候段候及申行き

一　もとゝゝきて家の

為世しまいらせ候

く能候ハゝ

候へ一ハ奈太丈夫

申まいらせ候

いう居まて[illegible]

ゆめしきもゝのとも

正月十六日　宗瑞公
　　　　　　御書判

梅ゝ殿　参

けへにて今のやうにてしほ
金けんまもりにも
よしほし

先〻より当中務之人

やしほ

一

一時々の御うれしく候へく候

かしく　ゑ紀婦　古兵ヨリ

国立国会図書館　　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89
ガラス使用

一
一門之衆従よりも入
ほと家も我いも
こそ成候しも元就
もも何とおもうも越之
出候ゆへ者諸さし付

こつきり河(?)公
不と在葉(?)事も中から(?)
御しられけれいうかんく
しそ付しのゟある
下我し元就れの分

一

一

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89
ガラス使用

一

一

一

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』　請求記号 859-89

ガラス使用

可有之候　猶期後日候

宗瑞公御書判

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89

ガラス使用

以上拾八通

天明六年丙午十二月

大江絃之改之

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89
ガラス使用

859
89

5949

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『毛利家文書』 請求記号 859-89

ガラス使用